

第 154 回沖縄県新型コロナウイルス感染症対策本部会議

議事概要

日 時：令和 4 年 3 月 17 日（木）14：30～15：30

場 所：県庁 6 階 第 1・2 特別会議室

・会議の概要

<報告事項>

- ◇ 県内における新型コロナウイルス感染症の陽性者数や広がり状況、医療提供体制等について、それぞれ所管する本部員から報告があった。

<議題>

- ◇ 議題（1）について検討した結果、八重山圏域に対する「コロナ感染拡大警報」については当初の予定どおり 3/22 をもって解除することを確認した。
- ◇ ただし、3 連休及び石垣島マラソンを控えることから、引き続き警戒を呼びかけることを確認した。

<その他>

- ◇ 総括情報部から、ワクチン接種に関する意識調査の結果について報告があった。
- ◇ 総括情報部から、ワクチン接種会場での反対を訴える団体への対応について報告があった。
- ◇ 知事公室から、米軍基地内における感染症対策について報告があった。
- ◇ 総括情報部から、オミクロン株の特徴を踏まえた濃厚接触者の特定等の見直しについて報告があった。
- ◇ 文化観光スポーツ部から、水際対策にかかる要請について報告があった。

1 参加者

玉城 知事、謝花 副知事、照屋 副知事、島袋 政策調整監、金城 知事公室長、池田 総務部長、松永 企画振興統括監、松田 環境部長、金城 県警警備第二課長、大城 保健医療部長、名渡山 子ども生活福祉部長、屋宜 農業振興統括監、内間 建築都市統括監、下地 産業振興統括監、真鳥 観光政策統括監、大城 会計管理者、金城 教育長、我那覇 病院事業局長、長濱 企業企画統括監、諸見里 医療企画統括監、糸数 保健衛生統括監、テレビ会議システム利用：木村 宮古保健所長、比嘉 八重山保健所長

2 報告事項

（1）沖縄県内における新型コロナウイルス感染症患者の発生等について

➤ 総括情報部から最新の新規陽性者及び療養者の状況について報告【資料 1】

- ✓ 3/16 の新規発生 827 名、合計 110,966 名、入院中 165 名、うち重症 2 名、うち中等症 104 名、入院・療養等調整中 495 名、宿泊施設療養中 538 名、自宅療養 3,692 名、入院勧告解除確認中 9 名で療養中患者計 5,169 名となっている。

(2) 米軍基地内における新型コロナウイルス感染症患者の発生等について

- 総括情報部から、米軍基地内における発生状況について報告。【資料 2】
 - ✓ 3/16 時点、米軍基地内で 30 名。
 - ✓ 12/15 以降、米軍基地において 8,323 名の陽性者が確認されている。

(3) 沖縄県内及び全国の感染状況について【資料 3、3-1~3-10】

- 総括情報部から、警戒レベル判断指標の状況や各種分析資料について報告。
 - ✓ 判断指標について、新規陽性者数（直近 1 週間合計）はレベル 4、病床使用率はレベル 2、重症者用病床使用率はレベル 1 となっている。
 - ✓ 直近 1 週間の新規陽性者数の前週比は 0.83 となっている。
 - ✓ 一般病床の使用率は 95.8%となっている。
 - ✓ 直近 1 週間の人口 10 万人あたりの新規陽性者数は 289.88 で、全国 14 位。
 - ✓ 新規陽性者数を保健所管内別で見ると、那覇保健所管内を除く地域では前週比が 1 倍を切っている。
 - ✓ 新規陽性者に占める 60 歳以上の割合は 10%未満を維持している。
 - ✓ 重症者・中等症者も順調に減少している。
 - ✓ 医療従事者の就業制限数は減少しているものの、減少幅が小さくなってきている。
 - ✓ 3/7 の週の飲食店が推定感染源となっている陽性者数は 122 人となっており、前週に比べて 18 人増加している。
 - ✓ 3/7 の週における県外からの移入例は 41 人となっており、前週から 7 名増加している。
 - ✓ また、まん延防止等重点措置期間中となっている都府県からの移入例も確認されている。

- 総括情報部から、沖縄県疫学統計・解析委員会の報告資料について説明
 - ✓ 実効再生産数については、沖縄本島 0.89、宮古 1.07、八重山 0.73 となっており、全県的に流行は下げ止まっている。
 - ✓ 年齢階級別で見ると、10代が最多となっている。
 - ✓ また、10代の中でも18歳の陽性者数が多くなっており、卒業旅行、卒業パーティ等に伴う感染拡大と推測される。
 - ✓ 今週の新規陽性者数は4,000-6,000人、入院患者数は200-240人程度と見込まれる。

(4) 宿泊施設の運用状況について【資料4】

- 総括情報部から、宿泊療養施設の入居状況等について報告。
 - ✓ 那覇市内では4施設が稼働しており、389名が療養している。
 - ✓ 中部地区では1施設が稼働しており80名が療養している。
 - ✓ その他に、北部で28名、宮古で22名、八重山で22名が宿泊施設療養中となっている。

(5) 沖縄県人口変動状況について【資料5】

- 総括情報部から、KDDI Location Analyzerによる分析結果を報告。
 - ✓ 人流については、繁華街エリア及び商業エリアではほぼ横ばい、空港エリアでは増加となっている。
 - ✓ なお、感染拡大警報が出されている八重山では、新石垣空港周辺の人流は減少しているものの、繁華街エリアでは増加となっている。

(6) クラスターの発生状況について【資料6】

- 時間の都合上、説明を割愛。

(7) 宮古・八重山地域の感染状況について【資料 7】

- 宮古地方本部から宮古地域の感染状況等について報告。
 - ✓ 宮古では毎週 70 人程度の感染者が確認されており、下げ止まりの状況。
 - ✓ 年齢別で見ると、30 代が約 25%を占めており最も多くなっている。
 - ✓ 60 歳以上が占める割合は 16%程度、10 歳未満が占める割合は 18%程度で横ばいとなっている。
 - ✓ 宮古管内でもオミクロン株 BA. 2 が確認されており、東京出張に伴う持ち込みと思われる。
 - ✓ クラスターが 2 施設において発生しているが、3 回目のワクチン接種が進んでいることもあり、大きく広がってはいない。

- 八重山地方本部から八重山地域の感染状況等について報告。
 - ✓ 3/9 の週の感染者は 160 名程度となっており、先週比 0.7 程度と下がってきている。
 - ✓ ただし、人口 10 万人あたりの新規陽性者数は 280 人を超えており、対策の継続が必要な状況である。
 - ✓ 与那国町では大学生の持ち込みや、引っ越しの手伝いに伴う感染事例があり、13 人の陽性者が確認されている。
 - ✓ 年代別では、10 代が占める割合が 20%程度と増えてきているものの、60 歳以上については 1 割未満と抑えられている。
 - ✓ 10 代が増えてきている理由としては、管内で開催されたスポーツイベント等の影響が考えられる。
 - ✓ また、管内の観光事業者や介護施設においてもクラスターが確認されており、市と連携しながら指導等を行っている。

(8) PCR 検査事業の状況について【資料 8】

- 総括情報部から、検査事業実績について報告。
 - ✓ エssenシャルワーカー定期 PCR 検査の実績について、3/5~3/11 は、介護関係者 11,118 人が受検した結果、20 人が陽性であった（陽性率 0.18%）。また、障害者施設関係者 1,790 人が受検した結果、3 人が陽性であった（陽性率 0.17%）。保育施設関係者については、2,453 人が受検した結果、11 人が陽性であった（陽性率 0.45%）。
 - ✓ 安価な PCR 検査補助の実績について、3/4~3/10 は 1,846 人が受検した結果、陽性者 113 人、陽性率 6.12%であった。
 - ✓ ワクチン検査パッケージの実績について、3/5~3/11 は 5,024 人が受検した結果、陽性者 187 人、陽性率 3.24%であった。
 - ✓ 一般無料検査の実績について、3/5~3/11 は 14,561 人が受検した結果、陽性者 763 人、陽性率 5.24%であった。
 - ✓ 学校 PCR 検査の実績については 5,140 人（232 校）が受検した結果、陽性者 98 人、陽性率 1.91%であった。

(9) ワクチン対策チーム進捗状況報告について【資料 9】

- 総括情報部から、住民向けワクチン接種進捗状況等について報告。
 - ✓ 3/15 時点で 1 回目のワクチン接種が完了した人は 1,049,257 人となっており、接種率（県全体）は 70.7%となっている。
 - ✓ 3/15 時点で 2 回目のワクチン接種が完了した人は、1,038,130 人となっており、接種率（県全体）は、69.9%となっている。
 - ✓ 3/15 時点で 3 回目のワクチン接種が完了した人は、366,597 人となっており、接種率（県全体）は、24.7%となっている。
- ※高齢者の接種数は 227,014 人（68.4%）となっている。

- ✓ 28 自治体において、高齢者に対する接種率が 70%を超えている。
- ✓ 3/12, 13 に那覇市で、5－11 歳の小児（531 名）に対する接種が実施されたほか、各地区で広域接種を含む集団接種が開始される予定である。
- ✓ 小児について、県では、希望する県民が接種を受けることができるよう、市町村と連携して機会の確保について努めるほか、県民が接種について判断できるよう、ワクチンの有効性及び安全性について情報提供を行うこととしている。
- ✓ なお、本県における、ワクチンによる未成年者（12 歳～19 歳）の副反応については、全年齢 136 例中 16 例（うち重篤者は 2 例）となっており、死亡例は確認されていない。
- ✓ 職域接種については、県内 16 団体から申請があり、5 カ所で接種が開始されている。

（10）空港 PCR 検査プロジェクト・TACO・RICCA の運用状況等について【資料 10】

- 文化観光スポーツ部から、空港 PCR 検査プロジェクト・TACO・RICCA の状況について報告。
- ✓ 空港 PCR 検査プロジェクトについて、3/7 の週の受検者は 3,021 名で、その内 29 名が陽性であった。
- ✓ 那覇空港抗原検査について、3/7 の週の受検者は 396 名で、その内 3 名が陽性であった。
- ✓ TACO について、3/7 の週のサーモグラフィー通過者は 166,584 人で、その内発熱者は 0 人であった。
- ✓ RICCA について、3/11 時点の登録者数は 145,115 人となっている。

（11）その他報告事項について

➤ 病院事業局から、県立病院の状況等について報告。

- ✓ 3/16 時点の県立病院の入院患者数は 60 人であり、新型コロナ病床の稼働率は 37.3%となっている。
 - ✓ 北部病院、中部病院、南部医療センター・子ども医療センターでは非コロナ病床の稼働率が 90%台後半となっており逼迫している。
 - ✓ 特に中部病院では一般病床の逼迫が深刻であることから、コロナ病床を一般病床に転換できるよう、医療フェーズの見直しについて検討してほしいとの要望がだされている。
- 総括情報部から、医療フェーズの見直しについては、医療コーディネータの意見も踏まえながら検討することを説明。

3 議題

(1) 「コロナ感染拡大警報」について

➤ 総括情報部から、「コロナ感染拡大警報」について説明。

◆ 経緯について

- ✓ 八重山圏域において感染拡大し、まん延防止等重点措置の適用を国に再要請する目安として県が設けている数値を一時的に上回った。
- ✓ 検討した結果、陽性者数や病床使用率について減少傾向が見られたこと等から、まん延防止等重点措置区域の指定を見送った。
- ✓ しかしながら、予断を許さない状況であることから、八重山圏域における警戒感を高めるため、3/9 に「コロナ感染拡大警報」を発出し、警報の期間を 2 週間程度 (~3/22) とした。

◆ 「コロナ感染拡大警報」発出後の状況について

- ✓ 3/16 時点の人口 10 万人あたり直近 1 週間の新規陽性者数は 245.56 人(前週比 0.63 倍)、病床使用率は 29.5%(前週差△29.6)、重症者用病床使用率は 0%(前

週から継続)となっており、各指標には改善傾向が見られる。

◆ 今後の方針案について

- ✓ 感染急拡大や医療ひっ迫の事態が生じない場合、当初の予定どおり 3/22 をもって「コロナ感染拡大警報」を解除する。
- ✓ ただし、3/19～3/21 の連休及び 3/20 に開催される石垣島マラソンに関連する感染拡大に警戒する必要があるため、注意喚起を行う。

(議題 (1) に関する発言等について)

- ✓ 石垣島マラソンでの対策状況について質問があった。
 - 総括情報部から、大会参加者はワクチン接種の有無に関わらず PCR 検査を受検し陰性確認がされた者が参加できること、参加者向けの PCR 検査会場を設置する等の対策が取られることを説明。
- ✓ コロナ感染拡大警報が発出された後の状況について質問があった。
 - 八重山保健所長から、警報の発出により地域の警戒感が高まったものの、リスクの高い場所での感染も続いていることから、警報解除後も継続して注意喚起を行う必要があることを説明。
- 議題 (1) について検討した結果、八重山圏域に対する「コロナ感染拡大警報」については当初の予定どおり 3/22 をもって解除することを確認した。
- ただし、3 連休及び石垣島マラソンを控えることから、引き続き警戒を呼びかけることを確認した。

4 その他

(1) ワクチン接種に関する意識調査の結果について

- 総括情報部から、ワクチン接種に関する意識調査の結果について報告。

- ✓ 1/24 から 2/20 の期間、沖縄県電子申請サービスを用いて選択的アンケートによる調査を実施した。
- ✓ 対象者は沖縄県内在住の 12 歳以上の者。
- ✓ 回答者は 11,353 名（男性：4,784 名、女性 6,506 名、不明 63 名）。
- ✓ 回答者の年齢構成は、10 歳代 354 名、20 歳代 1,287 名、30 歳代 2,549 名、40 歳代 3,394 名、50 歳代 2,530 名、60 歳代 1,030 名、70 歳代 200 名、80 歳以上 9 名。
- ✓ アンケートの結果は次のとおりであった。
 - ① アンケート回答した県民 11,353 人のうち、86%がワクチンを 2 回接種し、13%がワクチン未接種であった。
 - ② 2 回接種した人のうち、88%が 3 回目接種を希望していた。
 - ③ 初回接種でファイザーを接種した人に、追加接種においても同一ワクチンを希望する人が多い傾向にあった。
 - ④ また、73%の人が希望するワクチンが受けられなくても接種すると回答した。
 - ⑤ 未接種の人が、ワクチン接種を希望しない理由については、ワクチンに対する不安感や不信感、ワクチン接種への疑問や国や自治体の情報に懐疑的とする回答が多かった。
 - ⑥ また、「どうしたら接種を希望するか」との問いについても約半数（47%）が「希望しない」と回答しており、19%が国産のワクチンを期待する回答をした。
 - ⑦ 情報源については、TV・新聞等の既存の媒体のほか、国や自治体等を含めたインターネット等、複数の媒体を情報源としている傾向が全体的にみられた。
 - ⑧ また、未接種者において、インターネット・SNS 掲示板を情報源としている

方も多く見られ、身近な人についても情報源とする傾向が認められた。

⑨ ワクチンに対する認識について、ワクチンに対して肯定的な意見を回答したのは2回接種者のほうが未接種者に比べ多かった。

⑩ その一方、ワクチンに対し否定的な回答をした人は、未接種者が2回接種者に比べ多かった。

(その他(1)に関する発言等について)

✓ 本意識調査の活用方法について質問があった。

→総括情報部から、意識調査の結果を県民へ情報提供するとともに、専門家による更なる分析結果に基づき、今後の対策に活用する予定であることを説明。

(2) ワクチン接種会場の対応について

➤ 総括情報部から、ワクチン接種会場における対応について説明。

✓ 新型コロナワクチン接種反対を主張する本土の団体が、SNS上で沖縄県の小児向け集団接種に対する反対講堂を呼びかける事例があった。

✓ 実際に、県内の集団接種会場において、反対を訴える団体が集まったが、警察の協力により混乱無く接種を実施できた。

✓ 今後も必要に応じ、県警との連携をお願いしたい。

(その他(2)に関する発言等について)

✓ 病院事業局から、予防接種を実施している県内の医療機関においても、ワクチン反対を主張する個人・団体が押しかけ苦慮しているとの報告があった。

✓ 反対運動により医療機関等において業務に支障が生じる場合は、警察署に連絡して対応することに問題はないか質問があった。

→県警本部から、業務に支障が生じる場合は警察署に連絡して問題ないと回答。

- ✓ ワクチンを受けない自由もある一方、ワクチンを受ける自由もあることから、それぞれの権利が侵害されないよう、根拠等を整理しておく必要があるとの意見があった。

(3) 米軍基地内における感染症対策について

- 知事公室から、米軍基地内における感染症対策について報告。
 - ✓ 在日米軍においては、CDC（アメリカ疾病予防管理センター）の感染状況基準に照らすと、現況は中程度レベルという判断から、3/14 から基地内におけるマスク着用義務が解除されている。
 - ✓ 沖縄県においては、新規陽性者数が下げ止まりの状況にあり、基地内においても完全に収束している状況とは言えず、県民に対してもマスク着用を要請していることから、引き続き、米軍に対して沖縄県対象方針に従い、マスク着用等を徹底するよう要請する。

(4) オミクロン株の特徴を踏まえた濃厚接触者の特定等の見直しについて

- 総括情報部から、オミクロン株の特徴を踏まえた濃厚接触者の特定等の見直しについて報告。
 - ✓ 令和4年3月16日付け事務連絡「B.1.1.529 系統（オミクロン株）が主流である間の当該株の特徴を踏まえた感染者の発生場所毎の濃厚接触者の特定及び行動制限並びに積極的疫学調査の実施について」において、濃厚接触者の特定、積極的疫学調査の見直しが示されたところである。
 - ✓ 同事務連絡では、事業所等で感染者が発生した場合、濃厚接触者を特定し行動制限を求める必要はないこと、保育所、幼稚園、小学校等で感染者が発生した場合の濃厚接触者の特定、行動制限については自治体ごとに方針を決定すること等が示されている。

- ✓ よって、同事務連絡に基づき、濃厚接触者の特定、積極的疫学調査に関する県の方針を改める必要がある。
- ✓ 現在、県方針の改定に向けて、関連部署、県内専門家等の意見を確認しているところである。

(その他(4)に関する発言等について)

- ✓ 地域の状況に応じた対応ができるようにしてほしいとの要望があった。
- ✓ クラスターの発生により疫学調査に苦慮する場合があることから、濃厚接触者の特定、疫学調査の対象については具体的な例示をして欲しいとの意見があった。
→総括情報部から、各保健所等の意見も踏まえながら検討することを説明。

(5) 水際対策にかかる要請について

- 文化観光スポーツ部から、水際対策にかかる要請について報告。
- ✓ 羽田空港等と県内空港を結ぶ便の搭乗者を対象に実施している「搭乗前無料検査」の期間が令和4年3月31日までとなっているため、同検査の4月以降の継続等について、新型コロナ対策・健康危機管理担当大臣及び国土交通大臣あて要請を行う予定である。

5 閉 会